



清水寺

世界遺産・国宝清水寺本堂 〔清水の舞台〕で初のオペラ公演

～ 公演の取材ご案内 ～



ボローニャ歌劇場

この度、250年の伝統を誇る ボローニャ歌劇場〔セリエA〕と日本との共同制作 が初めて実現し、また、同じく本邦初となる 世界遺産“清水の舞台”でのオペラ公演を開催できる運びとなりました。“清水の舞台”が客席となり、約200席のみという大人の社交場が京都に登場します(全席招待・公募を含む)。

ボローニャ歌劇場オーケストラを指揮するのは、イタリアで活躍する日本人指揮者の吉田裕史。予定されている演目は、ボローニャに縁のあるマルティーニ神父(モーツァルトの音楽の先生)作曲によるバロックオペラで、二作品とも日本初演となります。

[開催日時] 平成25年10月23日(水)19時開演 京都・清水寺本堂 特設舞台にて

[演 目] マルティーニ作曲「音楽の先生」「ドン・キホーテ」(本邦初演目)

[指 揮] 吉田裕史〔よしだひろふみ〕 イタリア・ボローニャ在住 1968年10月12日生

東京音楽大学指揮科および同研究科修了。2006年より、イタリアでの指揮者としてのキャリアをスタートさせ、2010年には、日本人として初めてイタリアの歌劇場音楽監督に就任。その後は、数々のセリエAの歌劇場で指揮。その功績が認められて、今年7月イタリアにおいてオペラの普及に貢献した外国人に与えられる“カルーソー賞”を受賞。

取材に際しての注意事項

- 1、メディア受付は、17:50より開始致します。取材エリアへの入場可能時間は、18時以降19時までと、幕間(19:40頃～20:10)のみとします。(ゲストご来場18:30 開演19時)
- 2、フラッシュ撮影、および、上演中(オーケストラがチューニングを始めたらず上演開始とみなします)のスチールカメラ撮影は禁止です。
- 3、消音装置がついたカメラ機材をお使い下さい。
- 4、取材エリアの床は養生しておりますが、その他の場所で三脚を使って撮影をする場合は、文化財に傷がつかないように、必ず養生をした三脚をお使い下さい。
- 5、上演中は、事前に認めがある場合を除き、取材エリア内のみで撮影下さい。尚、演奏終了後(カーテンコール)キャストや指揮者がステージに上がったタイミング以降は、取材エリアを出た位置から撮影することが可能です。

京都公演

主催：日本芸術振興協会 共催：京都平安振興財団、日本経済新聞社 協賛：アートポート、ツカキグループ
後援：文化庁、イタリア大使館、イタリア文化会館、京都府、京都市、京都商工会議所

関西テレビ放送、ロームミュージックファンデーション、日伊共同制作オペラ名誉実行委員会

詳細お問い合わせ先：一般財団法人 京都平安振興財団 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

[<http://www.j-opera.jp/>] TEL: 075-748-1832 E-mail: global@4cs-i.com 担当者：神服 / 藤田

日伊共同制作オペラ 記者会見の概要

〔全体の流れ〕

- 1、日伊共同制作オペラ名誉実行委員長 小坂憲次 挨拶・説明
- 2、京都市長 門川大作 オペラ公演の愛称発表
- 3、指揮者 吉田裕史 説明
- 4、ボローニャ歌劇場総裁 フランチェスコ・エルナーニ 説明
- 5、質疑応答
- 6、プレゼント贈呈 と フォトセッション
 - ・京都市からボローニャ市へ
 - ・日伊共同制作オペラ委員会からボローニャ歌劇場へ

〔登壇者〕

